



学びの杜 北郷学園



教育理念「共に学び 共に創り 夢を叶える学園」

2学期 元気にスタート！

長かった夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まりました。連日の記録的な猛暑の中でしたが子どもたちは、夏休みにいろいろな経験を重ね、ひとまわりもふたまわりも成長したと思います。2学期は学習にも運動にも集中して取り組める学期です。また、学校生活の中でも一番期間が長く、学習発表会や音楽大会、修学旅行、部活動の新人戦など大きな行事もあります。しっかりと目標を定め、充実した毎日をおくってほしいと思います。

「未来へつなぐ子ども議会」

7月30日（火）日南市議会場で、市内の小中学生25名が参加し、「未来へつなぐ子ども議会」が行われました。これは、日南市内に住む小中学生に議会の仕組みを知ってもらい、自分が暮らす街への意見を自由な発想で市に提案してもらおうと行われたものです。

本校からは、6年生の長尾世馴さん、9年生の中津勇仁さんが参加しました。

中津さんは、「慣れない土地で頑張っている外国人労働者に対して市はどのようなサポートをしていますか」と質問しました。

これからの日南市を担う子どもたちが、ふるさとについて見つめ直し、快適で住みよい街になることを願って真剣に質問し、市の答弁に熱心に耳を傾ける姿はなんとも頼もしいかぎりです。



【子ども会議の様子】

「防災への意識」

8月8日夕方に起きた地震には、皆さん驚いたことでしょう。日南市では震度6弱を観測しました。海に近い油津や鶴戸の方では、地割れや屋根瓦が落ちたり、大きな岩が道路をふさいだり、大きな被害をもたらしました。

またまだ、傷跡の残る中、今度は台風10号の接近と2学期開始さうさう2日間の臨時休業となってしまいました。

いつ起こるか分からない地震や年々強くなる台風など自然の猛威を感じます。どんな状況でも身の安全を第一に考え、落ち着いた行動をとることが大事ですね。

被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。大変な状況かと思いますが、一日も早い復旧をお祈りしています。

「わかすぎ塾」

日南市内の中学校の生徒会役員等が集まって、「わかすぎ塾」が開催されました。本校から生徒会役員5名が参加しました。グループに分かれ自己紹介をしたり、各校の取組について意見交換を行ったりしました。本校からは、①あいさつチェックカードと②タブレットのルールづくりの取組について発表しました。



【掲示板に貼られた生徒会が作ったポスター】

シンガポール国際交流「セイント・ゲイブリエル中学校」訪問

本校生徒9名が8月2日（金）から10日（土）までの9日間、姉妹校であるシンガポールのセイント・ゲイブリエル中学校を訪問しました。今回、コロナ禍を挟んで5年ぶりの派遣となりましたが、現地では、姉妹校での授業、ホームステイ、観光など貴重な経験をし、新たな世界が広がったようです。参加者の感想です。

今回、シンガポールを訪問し、気づいたことや、楽しかったこと、少しだけ後悔していることがたくさんありました。例えば、放課後の学校外活動では、私のホームステイ先であるジョンと共に街歩きや観光を楽しみました。ジョンの家での生活にも日本と違う点を見つけることができました。シンガポールの訪問はとても実りのある楽しい思い出となりました。

【7年 風早 凜仁さん】

今回シンガポールに行って食べ物の違いにとってもビックリしました。緑茶やジュース全てが甘くてビックリしました。シンガポール発祥のローズジュースというのでも飲みました。「バラ？」と思って飲んだら普通にバラの味がしてビックリしました。でもとても甘くて一口しか飲めませんでした。食べ物だけでもこんなに違いがありました。沢山の食べ物にチャレンジできて楽しかったです。

【8年 山田 茉里奈さん】

私はシンガポールに行って学んだことがいくつかあります。1つ目は、世界には日本と違う文化がたくさんあるんだなと思いました。日本ではほとんどの人が日本語しか使わないが、シンガポールでは英語以外でも話せる人がたくさんいました。英語をたくさん勉強して来年もまたシンガポールに行きたいです。

【8年 松尾 心笑さん】

私は今回、初めての海外がシンガポールでした。私が一番印象に残っていることは、7～8年前に会ったセイント・ゲイブリエル中学校の先生に会えたことです。私はもうその先生は他の学校に行ったのかなと思っていたけど、まだいたのでも嬉しかったです。また、みんなで植物園に行ったり、チャイナタウンに行ったりしてたくさん観光してきました。とても良い思い出ができたので良かったです。

【9年 小泉 恵さん】

8月2日～10日の約一週間、シンガポールへ行きました。学校での思い出は、ロケットを作って飛ばしたり、コースターを作ったり、チキンライスを作ったりしました。学校外での思い出は、USSに行ったり、ボウリングに行ったり、植物園に行ったりしました。私がシンガポールに行って思ったことは、言葉の壁があっても、何とかなる！ということです。とても楽しい一週間でした。

【9年 黒木 彩夏さん】

私はシンガポールに行くとき、会話ができるかとか、食べ物が合うかなとか、不安ばかりでした。でも、向こうには心優しい人たちがばかりで、幸い物に気をつければ食べ物はおいしかったです。どれも初めて体験するものばかりで、楽しすぎる一週間でした。絶対にもう一回行きたいです。

【9年 高橋 奏さん】

私は今回のプログラムを通して、積極性の大切さを学びました。全て英語での会話でしたが、向こうの人たちの積極性のおかげで、こちらも積極的に会話ができました。そして料理も楽しめました。僕のホストファミリーはイスラム教徒でほとんどハラールの料理で、日本とは違う味付けや材料でユニークな物もできましたが、おいしくいただきました。大人になってもう一度会いに行きたいです。

【9年 中津 勇仁さん】

シンガポールに行くことが決まったとき、私の心は楽しみでいっぱいでした。6月の一週間で学んだことが全てに残っていたからです。やはり異文化の国に行くのに少し不安はありましたが、そんな不安も吹き飛んだ一週間でした。

【9年 重永 愛理紗さん】

9月3日付、宮崎日日新聞には、9年生 高橋 奏さん、中津 勇仁さんのシンガポール訪問記も掲載されました。

